

水辺50選 進捗状況 NO.2

9月14日～9月27日

広報の状況（9月14日～9月27日）

■市のホームページ内に特設ページを開設（9月19日）

水辺50選プロジェクトの経過、市民の方から寄せられた水辺の写真やエピソード、関連資料等を随時公開します。

■水辺50選新聞を創刊（9月27日）

エリアワークショップやワークグループの様子をまとめています。

■エリアワークショップへの参加募集

案内チラシ、水辺50選新聞を市内6施設で配布。
今後さらに2施設で配布予定。

水辺写真とエピソードの収集状況（9月14日～9月27日）

- ・ 1人から2件（電子データにて南平用水の写真）の提供
- ・ 1人から30件（電子データにて各エリアの写真）の提供
- ・ 1人から1件（黒川清流公園の写真）の提供
- ・ 1人から49件（各エリアの写真・パネル）の提供
- ・ 1人から5件（村絵図の資料）の提供
- ・ 1人から3件（ご自宅の水辺の写真）の提供
- ・ 1人から4件（電子データにて平山の湧水の写真）の提供
- ・ 1人から2件（電子データにて大木島・上田の写真）の提供

南平用水

南平用水の見どころ。近隣の人達が用水路沿いに草花を植えて手入れをしている。木柵が良い。



浅川 駒形の渡し

夏の間、南平5丁目と対岸の川辺堀之内にある市民プールの間に「駒形の渡し」がありました。上流の一番橋と下流の高幡橋を回るよりもはるかに便利でした。
(1995年7月30日)



黒川清流公園



豊田用水分流

蕎麦や玉川の裏手の用水路。前方の森は堀之内緑道。水路にはよく子連れの鴨がいた。心の休まる流れだった。玉川そば屋の座敷裏まで田んぼだった。

(1982年6月)



村絵図 資料

日野市郷土資料館講座

村絵図を楽しむ1 (改訂版)

三沢・程久保



三沢村絵図 (土方重家所蔵) 原寸 40.6cm x 50cm

明治以降も作られ、同七年から十年代にかけての地租改正にあたっては、全国で村絵図が作成された。この時にはすでに村絵図の技法と近代の地図様式が組み合わさっており、これを境に村絵図は衰退し、明治十三年から政府による全国規模の郡区町村界図の作成が始まり、村絵図は作られなくなった。市内に現存する最も古い絵図は日野本郷の貞享元年(二六八四)のもので、この他に市内にはかなり多くの絵図が残されている。本冊では三沢と程久保をとりあげ、村明細に書かれた当時の村の概観とともに村の様子を見てみよう。

村絵図とは
村絵図とは村の概況を平面図に表したもので、一見して当時の村のようすがわかるようになっている。村界図・地引図・墨引図ともいわれ、代官や知行主(領主)の交代の際には田圃反別帳や村界出明細帳等と共に差出す重要書類の一つであり、地籍、図絵図の作成、土地勘定、検見、村境や入会などの訴訟、川除普請などの際にも作られた。縮尺や方位の正確な現在の地図に近いものも、簡単な見取り図のようなものも含めて村絵図と称する。専門の絵師により描かれたものも多く、村政上の必要事項を強調して村境、山林、田圃、川、道路、民家、社寺、高札場などが描かれる。大部分は平面的に描かれるが、山や寺社などは絵画的に描かれ、家も戸数がかかるように屋根つきで描かれるものが多い。

日野市郷土資料館講座

村絵図を楽しむ2 (改訂版)

南平



平村絵図 部分 天保14年(1843) 個人蔵

村絵図を楽しむ
旧七生地区南平の江戸時代の絵図を見てみよう。この絵図は平村絵図と呼ばれている。江戸時代には南平は平村と呼ばれていた。明治二年(一八九九)に同じ多摩郡内に平村が二か村あったため、一方は北平村(現八王子市平町)、日野の方は南平村と改称された。村絵図をみてみると、現在の地図に見る等高線やケバ(山の影や傾斜を示す細い線)による表現法を知らなかった時代であり、山の高さや起伏などを平面上に図示するために簡略的な手法を用いて、山や寺社などを絵画的に描いている。絵図をたよりにその土地を歩いてみるのも一興である。今はもうなくなっている神社や寺にも、跡地に残る古い道や辻には道祖神などの石があり、絵図が描かれた頃の人々の暮らしや神社の景観などを感ずることができる。郷土資料館主催、絵図展「絵図から見る江戸と日野」(平成一八年九月二三日〜十二月七日)を開催し、館所蔵の正徳正レクシンの貴重な江戸大絵図や、館内展示の展示を行い、好評を博した。また、「日野の町史を綴る会」では、明治初年の地租改正時に失われた七生地区の地名を求めて調査を行い、「日野市七生地区の地名と昭和の高麗」を出版した関係で、企画展や「村絵図を楽しむ」の講座やリフレットの編集に協力をしてい。今回の「村絵図を楽しむ2(改訂版)」は、先に作成した「村絵図を楽しむ1(南平・程久保)」のうら、程久保の項は「村絵図を楽しむ1(三沢・程久保)」(改訂版)にそめたので、南平の項のみを載めた。

宅地内 水辺



平山 湧水

宅地内にも関わらず、意外にもきれいな湧水が湧き出し、せせらぎの水辺がひっそりと存在しています。せせらぎが続く（流れる）ように工夫すれば、すばらしい水辺景観にすることができます。



上田 素掘りの水路

